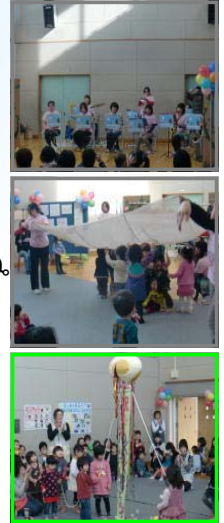


わくわく館5周年イベント 1月24日(木曜日)

わくわく館は1月11日で開所以来5周年を迎えました。5才のお誕生日を、たくさんの利用者やスタッフ皆でお祝いしました。イベントは63組133名と過去最高の参加者でにぎわう中、館長のあいさつでスタートしました。今回は特別ゲストにイベントを盛り上げていただきました。子育て中のお母さんバンド「ウィンドアンサンブルpony」の皆さんが素敵な曲をプレゼントしてくれました。皆が知っている童謡や手遊び歌をドラムや管楽器で演奏してくれました。一緒に歌ったり、手遊びをして楽しんで参加していましたね。もう一組の特別ゲストは「キダーハウス&pony&ビーンズママ」の皆さんで、音楽と絵本のコラボレーションによる、『はらぺこあおむし』のお話を見ました。子ども達もさなぎになって参加し、みんなきれいな蝶になりましたね。最後は、わくわく館の誕生をイメージした、たまごの形のくす玉割り。くす玉が見事に割れたときは、「わあ〜!」と歓声上がり、皆で喜び合いましたね。くす玉のところで記念撮影をして、5周年イベントは幕を閉じました。イベントを開催するにあたり、ウィンドアンサンブルponyさん・キダーハウスさん・ビーンズママさん・子育てボランティアの皆さんには、たくさんの協力をいただきました。本当にありがとうございました。また、関係者の皆さんにつきましては、お忙しい中ご足労頂きまして、大変感謝しています。これからも、わくわく館を末永くよろしく願い致します。



節分に向けて

2月1日(金)に行われる『節分の会』での福拾いで使う袋制作をしています。紙袋にスズランテープを三つ編みにして作った持ち手を付け、折り紙のオニや福の神、パンチで抜いた飾りを付けて作ります。リアルなオニ、可愛いオニ、子どもが折った折り紙など個性豊かな袋が出来あがっています。作った袋はわくわく広場に飾らせて頂いています。まだ作っていない人は、わくわく広場開放時間内の都合の良い日に作りに来て下さいね。節分の会までに作り来れそうに無いという人も、当日の袋も用意していますので、心配しないで参加して下さいね。

使い方に気をつけて

お母さんとお子さんが安全に楽しく過ごす為に、わくわく館という公共の場の使い方を、今一度考えて見て欲しいと思います。“しつけの場”や、就学・就園・入所などの集団に入る前の“練習の場”として使って欲しいのです。子どもが1でお友達と遊べる年齢になると、お母さんが近くにいなくても大丈夫だと思うかも知れません。「転んだり、小さな怪我はいつものことなので大丈夫」と言う声も聞かれます。しかし子どもが転んだ時に他の子を巻き込んでしまうかもしれません。また、子どもが怪我をしてしまった時、たまたま近くに居たお母さんが責任を感じてしまうかもしれません。たとえば、お母さんがおしゃべりに夢中で子どもに背を向けていた時に、他の子を泣かせたり怪我をさせた場合、泣かせた子のお母さんは自分の子を叱るでしょう。でも、一方的に悪いわけではなく、他に原因があるかもしれません。『結果こうなってしまった』という場面だけで、叱られた子はどう思うでしょう。そういったことも、お母さんが近くで見ているら回避できることなのです。

わくわく館は、お子さんをお預かりする施設ではありませんので、私達スタッフは基本託児をしません。しかし、子どもやお母さんの交流、仲間作り、子育ての悩みや不安などはいつでも力になります。

どうぞ、わくわく館の利用の仕方をご理解いただき、皆が気持ちよく過ごせるよう、ご協力をお願い致します。

~ 2月の子育て講座 ~

2月7日(木曜日)

開場 9:30 開始 10:00

「おもちゃであそぼう」 講師は札幌第一子どものとも社 藤田 春義さんです。

託児あり(先着20名)

お母さんだけの参加は何名でも受け付けます。